

進路だより 第1号 (4月9日)

日本大学櫻丘高等学校 進路指導部



令和6年度 社会人講演会のようす

はじめに

新入生の皆さん、改めて入学おめでとうございます。これから3年間、櫻丘高校でさまざまな経験を通じて、自らの将来の方向性を定めていきましょう。

2年生は、この機会に入学した時の初心を思い出し、新学年でも充実した学校生活を過ごしていきましょう。

そして3年生は、いよいよ「受験生」としての1年がスタートします。皆さんそれぞれが定めた目標に向け、悔いのないよう過ごしていきましょう。進路指導部としても、皆さんを全力で応援・サポートしていきます。

さて、進路指導部では、全学年共通の「進路だより」を定期的に発行しています。自分の学年の記事だけでなく、他学年の様子も知ることによって、高校生活の進路探究の全体像が把握できるようになっています。皆さんに、進路について少しでも考える機会を持ってもらいたい、また、将来の目標に向かって歩み始める皆さんの背中を後押ししたい、そのような思いで発行していきます。これから1年間、よろしくお願いいたします。

今回の内容

- 1 【全学年】
今年度の進路目標を明確に
- 2 【全学年】
スタディーサポートとは？
- 3 【全学年】
基礎学力到達度テスト
- 4 【3年生】
基礎学後の次なる目標は…

【今後のおもな進路行事】(4月～5月)

- | | |
|----------|----------------------|
| 4月10日(木) | スタサポ(2,3年) |
| 14日(月) | スタサポ(1年) |
| 16日(水) | 基礎学(1,2年) |
| 17日(木) | 基礎学(3年) |
| 24日(木) | 進路説明会(3年) |
| 5月17日(土) | GAKUTAN(1年) |
| 21日(水) | 第1回定期考査
(～24日(土)) |



今年度の進路目標を明確に

1年生へ

本校に進学した皆さんの多くが、大学進学を希望していると思います。しかし「大学＝人生のゴール」ではありませんね。（まして、高校入学＝人生のゴールでないことは言うまでもありません。）むしろその後の人生の方がずっと長い。大学卒業後、皆さんは就職して仕事を持ち、その収入で人生設計をしているかもしれません。その時、仕事へのやりがいや、社会に貢献できている実感が得られていれば、きっと充実した毎日を送れるはずです。

校外教育では、進路指導部主任が「3年間をかけて進路をじっくり考えよう」という話をしました。1年生はまず、高校生活や授業に慣れ、高校生としての基本的な生活・学習習慣を身に付けることが大切です。そのうえで、ガイダンスにもあった「3つの『知る』（「自分」を知る、「社会」を知る、「大学」を知る）を念頭に、進路探究をスタートさせていきましょう。

2年生へ

2年生は、進路探究をより深めていく学年です。皆さんは入学した頃に比べて多くの知識や考え方を身に付け、さまざまなものの見方・考え方を学んできたはずです。進路探究においては、そのなかでも特に「**自分の可能性を広げる**」ことと「**社会理解を深める**」ことが特に大切です。7月には、昨年度も好評だった出張講義を開催する予定です。昨年度とは異なる学科の先生も来てくださるので、お楽しみに。また2年生の後半では探求の授業でも大学研究をさらに深め、将来の志望校決定へとつなげていきましょう。

3年生へ

3年生の多くが、第1志望を定めそれに向けて努力していると思います。ただ、なかには大学の知名度や偏差値、難易度などの表面的な理由だけで第1志望を決めている人もいるかもしれません。ここから大学・学部研究をさらに深め、明確な志望動機を持つことができれば、より一層学習へのモチベーションも高まるでしょう。信念を持って受験勉強を進めましょう。

日大進学志望者は、4/17（木）実施の基礎学力到達度テストに向け、最後の追い込みです。4/10（木）のスタサポで、基礎学力の定着具合を確認し、自己採点や直しを行うなどして活用しましょう。（結果の返却は基礎学当日には間に合いません。）

他大学への進学志望者は、まずスタサポや基礎学で学習の定着の度合いを確認しつつ、模試の受験などを通じて自分と志望校との「距離」を把握しましょう。進路指導部でも随時申込みの案内を行っていくので、積極的に受験してください。

進路探究に必要な2つの視点

①自分の可能性を広げる

例えば、積極的に声をかけ、友人関係を広げてみる。部活動やクラスの係を率先して引き受ける。新たなジャンルの書籍を読んでみる。こういったことを通じて自分の可能性や視野を広げていきましょう。（もちろん授業もそうです。）

自分の世界を広げていくことで、より多様なものの見方を身に付けられるようになり、それが進路選択に繋がっていきます。

②社会理解を深める

新聞やニュースに関心を持ち、地域や社会への理解をより一層深めましょう。また、大学のそれぞれの学部ではどのような研究が行われているのか調べてみましょう。

自分と社会の両方を知ることによって、自分と社会の距離感が変わり、進路観も変化していくはずですよ。進路指導部でも、今後、大学生や社会人を学校にお招きし、お話を聞く機会をつくる予定です。

3年生 4, 5月のテストについて

- 4/10（木）スタディーサポート
（全員受験・英数国・マーク式）
- 4/17（木）基礎学力到達度テスト
（全員受験・英数国・マーク式）
- 5/21（水）第1回定期考査（5/24まで）



1年生 2年生 3年生

スタディーサポートとは？

2,3年生は4/10(木), 1年生は4/14(月)にスタディーサポートを実施します。年2回実施するスタディーサポートでは、英・数・国3教科の学力の定着度合いを確認するとともに、学習状況(学習習慣がどれだけ身についているか、学習においてどのような悩みを抱えているか、など)についてもアンケート形式で答えていきます。今後、担任の先生と面談などをする際にも大切な資料となりますので、真摯な姿勢で受験してください。

(※結果の返却は、5月の中旬頃を予定しています。)

一般的な模試とは何が違うの？

本校では「進研模試」を複数回行います。また3年生になると「駿台ベネッセ模試」や「河合塾全統模試」を学校受験できます。こうした一般的な「模試」と「スタディーサポート」は何が違うのでしょうか？

「模試」は基礎から発展まで深い応用力までを問うものです。これに対して「スタディーサポート」は基本的、かつ重要な内容を網羅的に確認します。つまり、受験に必要な学力の土台となる「基礎力」を測る試験だと考えてください。

1年生 2年生 3年生

基礎学力到達度テスト

1,2年生は4/16(水), 3年生は4/17(木)に、日本大学の全付属校生が基礎学力到達度テストを受験します。日大への推薦方式の一つに「基礎学力選抜方式」があり、(本校の日大進学者の約8割が利用。)この方式の選考に基礎学力到達度テストの成績が用いられます。

基礎学力選抜方式では、「1年生4月」「2年生4月」「3年生4月」「3年生9月」の基礎学力到達度テストの各教科の標準化得点(≒偏差値)を下表の比率で表し、その合計点により順位を決定します。この順位の高い生徒から出願先が決定されていきます。

基礎学の試験範囲は？

- 1年生4月の試験範囲
→中学での学習内容
- 2年生4月の試験範囲
→1年生での学習内容
- 3年生4月の試験範囲
→2年生での学習内容
- 3年生9月の試験範囲
→3年生までの学習内容

教科	1年4月	2年4月	3年4月	3年9月
国語, 数学, 英語	0% ※受験は必須	20%	20%	60%
地理歴史・公民/理科	×	×	×	100%

昨年度の3年生に対しておこなったアンケートによると、昨年度、本校から日本大学に進学した生徒のうち、78%の生徒が自分の第1志望の学部・学科への進学を叶えました。

多くの生徒が第1志望への進学を実現するのは喜ばしいことですが、裏を返せば残り22%の生徒は、やむを得ず第2志望以下の学部・学科への進学を余儀なくされたということになります。つまり付属生だからといって、必ずしも第1志望の学部・学科に進学できるわけではないのです。また、日大に進学を希望する皆さんは、単に「どこでもいいから日大に進学する」ではなく、「○○をするために第1志望の学部・学科に進学する」という明確な目標を掲げましょう。



基礎学後の次なる目標は…

【日大進学を考える生徒へ】

4/17（木）の基礎学が終わると、残すは9月下旬の基礎学力到達度テストのみです。9月の基礎学に向けてすぐにスタートを切りましょう。基礎学力選抜方式においては、9月の基礎学が占める成績の割合は「英数国で6割、地歴公民または理科が10割」であり、これからの頑張りで志望学科への合格を大きく引き寄せることができます。

とは言っても本番まで約5ヶ月。まず、何から始めるべきか？と戸惑う人もいるかもしれません。まずは、より近い目標として6/4（水）の「日大チャレンジ模試」に向け、学習計画を立てていきましょう。

【他大進学を考える生徒へ】

Gクラスで他大進学を希望する生徒は、6/4（水）は「日大チャレンジ模試」でなく「進研共通テスト模試」を受験することができます。（Sクラスは全員が進研共通テスト模試を受験。）共通テスト模試は、これまでの学習の定着度を確認するのに最適な模試といえます。毎年40万人以上の高3生が受験する大規模な模試であり、志望校判定など客観的なデータの信頼度も高いのが特徴です。

今後、本校で学校受験できる模試は、6/4（進研共テ）、7/11（進研記述）、8/4,5（河合塾共テ）、8/28（河合塾記述）…と定期的に予定されています。模試を直近の目標に据えつつ、学習のPDCAサイクルを回していきましょう。

6/4（水）模試までにできること？

4/17（木）の基礎学終了後、6/4（水）の模試まで約6週間あります。学習計画を立てる際は、1週間ごとに立案・修正していくのがおすすめです。PDCAサイクルをうまく回しつつ、6週間を有意義に過ごしましょう。

ただし、カレンダーをよく見ると、5/21（水）～24（土）まで第一回定期考査があります。この対策にもしっかりと時間を割り当てなければなりません。そう考えると、模試までの6週間をすべて模試対策に注ぐことはできません。目標から逆算し、その週にやるべきことをしっかり考えましょう。

Column

高校生の皆さんが将来を考えるのはどのような時でしょうか。これから多くの大人（主に保護者や学校の先生）から「進路について考えましょう」という声かけがあると思います。「将来のことなんてわからないよ…」という不安なあなた。大丈夫です。ほとんどの高校生が、自分の将来について明確なイメージを持っていません。しかし、それは考えてみれば至極当然のことです。なぜなら、物事に対して明確なイメージを抱くためには、「知識」「経験」「きっかけ」が必要だからです。これから皆さんは学校生活の中で様々な「知識」を学び、「経験」をすることでしょう。毎日の全てのことに全力で取り組んでいってください。それが、皆さんの将来の助けに必ずなることでしょう。教職員一同、皆さんの成長を支えていきたいと思っています。

進路を考える皆さんにとって、この「進路だより」が良い「きっかけ」になると嬉しいです。1年間、どうぞよろしく願います。

（進路指導部副主任 国語 山本皓介）